教育広報誌

with you ウィズ・ユー

電子版（Vol.7）
２０２１年2月
発行／熊本市教育委員会

「優秀教職員表彰」受賞者１０人決定

教育委員会では学校教育において、次世代を担うリーダーにふさわしい積極的な取組を行い、顕著な成果を挙げた教職員を毎年１０人程度、熊本市教育委員会優秀教職員として表彰しています。今年度は、学習指導や人権教育、進路指導、学校事務などそれぞれの分野において、本市教育の推進に大きく貢献した１０人の教職員が受賞されました。

１１月５日に行われた表彰式では、遠藤教育長から受賞者一人一人に表彰状と副賞が授与されました。受賞された教職員は以下のとおりです。

※後列左から

帯山西小学校	源　洋子	教諭
北部中学校	甲斐　任	教諭
西原中学校	高橋　宗嗣	教諭
竜南中学校	近藤　博史	教諭
弓削小学校	柴田　仁美	事務主任
京陵中学校	伊藤　亜希子	教諭

※前列左から

本荘小学校	二子石　雅敬	教諭
白川小学校	清水　修	教諭
	（教育次長）岩瀬　勝二	
	（教育長）遠藤　洋路	
	（教育次長）塩津　昭弘	
城東小学校	入江　亮介	教諭
楠小学校	山下　若菜	教諭

＜問い合わせ先＞教職員課　TEL328-2720

熊本市教育委員のご紹介

熊本市教育委員会は教育長と５人の教育委員で構成され、教育委員会会議において教育の大切な方針等を決定しています。今回は今年度 10 月から教育委員２期目となられた小屋松委員と西山委員をご紹介します。

小屋松徹彦（こやまつ てつひこ）教育委員

趣味：体を動かすこと
ゴルフ、ソフトボール、ミニバレーなど楽しんでいます♪

（主な経歴）
明治大学法学部卒業
司法書士登録
出水南中学校 PTA 会長、画図校区体育協会会長
司法書士法人小屋松事務所所長（至現在）
平成２８年 10 月～熊本市教育委員会委員（現在２期目）

Q １期目を振り返って、今後熊本市の教育に必要なことは何だと思われますか？

A １期目の４年間で３度の教科書採択に関わらせていただきました。就任２年目に道徳教科書の採択、３年目は小学校教科書の採択、そして昨年が中学校教科書の採択でした。従来の教科書と比較して印象に残ったことは、2020 年度から導入された新学習指導要領により、「主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）」の実現を意図した内容が加わったことです。今後の教育現場は、従来の「覚えさせる授業」から「考えさせる授業」への転換を図らねばなりません。

新学習指導要領が求めるものはそれだけに止まりません。プログラミング教育の必修化、英語・道徳の教科化、ICT の活用などなど。かつてない大きな改革の波が教育の現場に押し寄せているといっても過言ではないと思います。

ところで、教員の使命とは何なのでしょうか？　私は「より質の高い授業を提供することによって、子どもたちの学ぶ意欲を掻き立てること」ではないかと思っています。しかしながら、今現在の教育現場において、果たして教員が授業や授業準備等に集中できるような環境が作れているかと言えば、残念ながら必ずしもそうとは言えません。多忙な教員の懸命な努力によって学校が支えられていると言っても過言ではないでしょう。

近年、全国的に教員の働き方改革への取り組みが行われていますが、本市においては、「学校改革！教員の時間創造プログラム」を策定し、具体的な取組みを実行しているところです。教員の時間創造を阻害する要因は何なのか？そこをしっかり検証し、学校・家庭・地域一体となって、課題解決に向け尽力する必要があると考えます。

熊本市教育委員のご紹介（小屋松委員・西山委員）

Q 小屋松教育委員の２期目の抱負を聞かせてください。

A 一つは、教員が本来の業務である授業とその準備に集中できる環境をいかに作るか？という課題の解決です。現在、学校を取り巻く環境が複雑・多様化し、学校に求められる役割が拡大化していますが、今一度、学校・教員が担うべきこと、家庭で担うべきこと、地域社会で担うべきこと、という視点から学校現場の役割を再構築してみる必要があるのではないでしょうか。それには、保護者や地域の方々のご理解とご協力が必要ですし、何より教員自身の意識改革という点は不可避であろうと思います。

　もう一つは、小学校から高校まで一貫したキャリア教育の推進です。小学校の高学年から職業観や勤労観を養う機会を設け、自身の個性や適性に気づき、主体的に自らの将来を選択していく力（生きる力）を身に付けることが大切です。地域の事業者の方々の協力を得て熊本の未来（地域経済）を担う子どもたちを育てるという視点から大切な課題だと思います。

Q 小屋松委員から子どもたち、保護者へメッセージをお願いします。

A 誰も経験したことのないコロナ禍の中、非日常の生活は窮屈で辛い体験です。子どもたちも不安な気持ちを抱えながら学校生活を送っているかも知れません。こんな時こそ、ご家庭で、学校のことや友達のこと、今感じていること等々を話し合ってみるのはいかがでしょうか。改めて大事なコトに気づく機会になるかも知れません。

子どもたち！　コロナに負けず、元気に育て！　応援してるよ！

西山　忠男
（にしやま ただお）
教育委員

（主な経歴）
九州大学理学部卒業
九州大学大学院理学研究科博士後期課程修了
熊本大学理学部教授
熊本大学副学長
平成２８年１０月～熊本市教育委員会委員（現在２期目）
熊本大学大学院先端科学研究部特任教授（至現在）

多趣味な西山教育委員。
詳細は次ページで

熊本市教育委員のご紹介（西山委員続き）

多趣味です。
料理は、熊本地震後、家庭を大切にしようと思い、より熱心に。
おいしいものを食べ歩いて自分の料理に活かしています。
やりたいことが多すぎて体力がついていきません…。

西山教育委員

ピアノとケーナ
退職を機に始めました。
中学時代はトロンボーンをやっていました。

料理
週５日夕食を準備。
得意料理は酢豚、回鍋肉等の中華料理、カレー、シチューなど。レパートリーは約 100 種類！

小説
これまでに２作自費出版！
今年６月には３作目出版予定

テニス
47 歳から開始。
球速だけは早いです！

Q １期目を振り返って、今後熊本市の教育に必要なことは何だと思われますか？

A 熊本市では，ICT 教育が充実してきましたが、現場の先生方の活用には温度差があるようです。今後は、教育センターによる研修などにより、ICT の活用にすべての先生方が熟達されることを希望しています。全国学力状況調査では、本市の生徒さんたちの学力の特徴が見えてきました。わずかな差に一喜一憂する必要はありませんが、応用力を向上させることと、成績上位層の学力を全国レベルに引き上げることが課題だと考えています。平成さくら支援学校とあおば支援学校の開校により、特別支援教育が充実してきたことは喜ばしいことです。しかし、通常学級の生徒さんとの交流も重要で、一層の相互理解が進むことを期待しています。一方で、教員による体罰、不祥事は根絶できていません。いじめ、不登校、自殺も大きな問題です。一朝一夕の解決策はありませんが、根気よくこれらの事実に向き合い、一歩でも改善に向けて対応していくことが大切と考えています。

Q 西山教育委員の２期目の抱負を聞かせてください。

A １期目では、他県への視察が非常に参考になりました。横浜市の英語教育、東京都の夜間中学、沖縄市の平和教育などが特に印象に残っています。これらのすぐれた取り組みから学んだことを、本市の教育に生かすことができれば、と考えています。

Q 西山教育委員から子どもたち、保護者へメッセージをお願いします。

A 学校時代は悩みが多いものです。苦しみも多いでしょう。でも若い時は夢も希望も楽しみもたくさんあります。自分を信じて毎日を精一杯生きてください。苦しい時は SOS をためらわずに発信して下さい。周囲の先生方も、私たちもきっとあなた方の力になります。あなた方を助けます。

小中連携教育・小中一貫教育を推進します！

１　小中連携教育・小中一貫教育とは

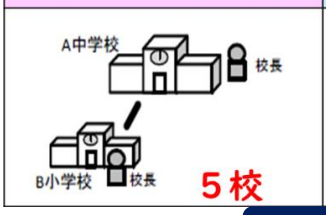
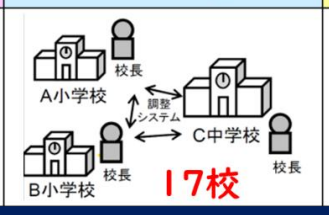
小学校と中学校が情報交換や交流を行うことを通じ、子どもたちが小学校から中学校にスムーズに進学することを目指す様々な教育を**「小中連携教育」**と言い、このうち小・中学校が９年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指す教育を**「小中一貫教育」**と言います。

２　取組の方向

子どもたちが小学校から中学校に円滑に進学できるよう、全中学校区（42 校区）で小中連携教育を実施しており、中学校区ごとに以下の３グループに分類しています。現在の中学校区を基盤にして、Ａグループから小中一貫校へ移行し、他グループにおいても小中一貫教育を推進できる体制を整えていく予定です。

子どもたちが小学校から中学校にスムーズに進学するための取組なんだね。

＜本市における各中学校区の分類＞

Aグループ（小１中１）	Bグループ（小複中１）	Cグループ（小複中複）
		

＜本市の小中一貫教育導入のあゆみ＞

年度	H28	H29	H30	H31・R1	R2
研究モデル校	向山校区（幼小中）	碩台校区（幼小） 富合校区（小中）	芳野校区（小中） 向山校区（小中） 楠校区（2小中）	河内校区（小中） 向山校区（小中）	託麻東校区（小中）
小中一貫校				芳野校区（小中） 富合校区（小中）	芳野校区（小中） 富合校区（小中） 河内校区（小中） 向山校区（小中）

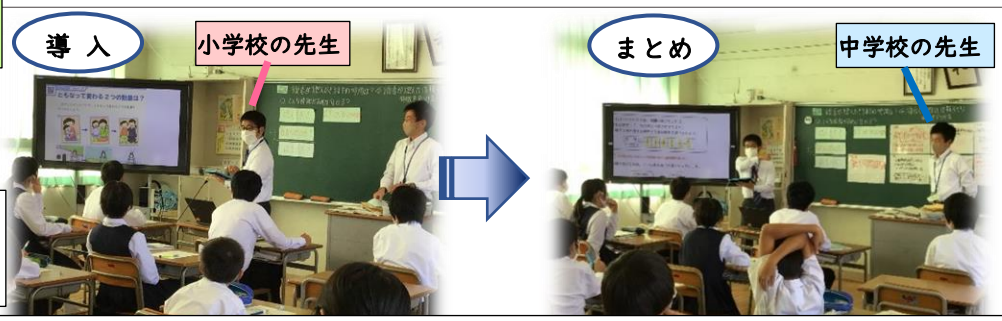
３　期待されるメリット

①小規模校の弊害の解消　②いわゆる「中１ギャップ（小中ギャップ）」の緩和
③学力向上　④教職員の意識改革　など

４　各校区独自の取組

富合校区（富合小・中）

教科部会の取組（例）



中学１年生の数学の授業で、小学校の先生が TT（ティームティーチング）として、一緒に授業（乗り入れ授業）を行い、小学校と中学校の学習をつないだり個別指導を行ったりしている。

小中連携教育・小中一貫教育を推進します！（続き）

4　各校区独自の取組（続き）

芳野校区（芳野小・中）

合同運動会

合同登校

乗り入れ授業

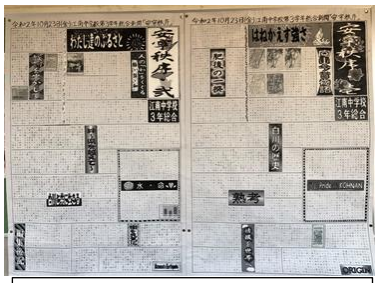
合同研究　ICT の効果的な活用による「一人一人が深い学びを求める児童・生徒の育成」

「よしのスタンダード」を作成、目指す子ども像「十五の春の姿」に向け９年間を見通した教育実践を進める。

向山校区（向山小・江南中）

小学生と地域の方々
中学生と地域の方々
とで種から苗づくり

育った苗を産業道路沿いの花壇に植えます



小学校の生活科や総合的な学習で学んだことを踏まえ「ふるさと」をテーマに壁新聞に。熊日中学生壁新聞コンクール入賞！

河内校区（河内小・中）

３部会（生活・学習・健康教育）を組織し、連携カリキュラムの修正･改善を行いました。

小学生が中学校の文化発表会に参加しました。

「河内スタンダード」を作成し、目指す子ども像を共有することで９年間を通した系統的な教育を目指します。

一人暮らしの老人の皆様へ花苗を送ることを小中合同で計画し、民生委員さんを通して配布しました。

託麻東校区（託麻東小・二岡中）

二岡タイム

小中連携共通実践事項として、生徒と教師にとって「関わりの体験の場」を意図的かつ日常的に設定する。

小中合同校内研修会

託東タイムと
二岡タイムの実践

託東タイム

全校をあげてグループアプローチに取り組んでいる。これは、生徒指導の三機能（自己決定・自己存在感・共感的人間関係）を育むことをねらいとしている。

小島小学校人権学習　～人と人とをつなぐ温かい学び～

小島小学校では、新型コロナウイルスに感染した馬肉料理店「二代目天國」店長の前田さんを講師に招き『人と人とをつなぐ温かい学び』をテーマにした人権学習を行いました。
前田さんは症状が悪化し、死を覚悟したことを話され、「呼吸する、歩く、食べることができるということがいかにありがたく幸せなことか。だからこそ、その日常を大事にしてほしい。」と呼び掛けられました。そして、中学２年の息子さんが嫌がらせを受けるかもしれないと店名を公表することを悩まれましたが、「僕はいじめなど怖くない。店から感染を広げてはいけない。お客さんに知らせる意味でも公表して。」という息子さんの言葉で公表を決心されました。店名公表後は、非難や嫌がらせもあったけれども、全国から励ましの電話や手紙がたくさん届いたことや病院スタッフの献身的な治療もあり回復したことなど、自分自身が実感した人の温かみと、感謝の気持ちの大切さを教えていただきました。不安でいっぱいのコロナ禍だからこそ「正しく恐れる」こと、そして「人と人とがつながり合う」ことが大切であると、前田さんから深く学ぶ授業になりました。

前田さんのお話からたくさんのことを学びました。

前田さんに感想と心からのお礼を伝えました。

★児童の感想★

＊店名を公表するのは勇気のいることだと思います。お客さんのことを思って行動する前田さんはかっこいい。私も人のことを思いやれる優しく、強い心を持ちたいです。（６年女子）

＊大変な時だからこそ応援されることで元気になれる。「言葉には力がある」と思います。（６年男子）

市立図書館等２２ヶ所で県立図書館の本を貸し出します！

新型コロナウイルス感染防止に配慮しつつ、利用者の利便性向上を図るため、市立図書館等２２ヶ所において、県立図書館蔵書の貸出・返却サービスを実施しています。

利用方法

県立図書館のホームページで借りたい本と受取館を指定して予約してください。予約及び貸出には県立図書館の登録カードが必要です（市の登録カードは不要）。貸出準備完了のメールが届いたら、指定した受取館で借りることができます。

受取館一覧

・市立図書館・植木図書館・城南図書館・とみあい図書館・くまもと森都心プラザ図書館
・公民館図書室（15ヶ所）・男女共同参画センターはあもにい・市議会図書室

返却

市立図書館等の窓口の他、返却ポストもご利用いただけます。県立図書館窓口で借りた本も返却可能です。

＜問い合わせ先＞市立図書館　TEL363-4522

ひな祭りのなぜ？もわかる企画展だべぇ。
しゃちべえはひな祭りになぜ甘酒を飲む
かわかったべぇ。

「しゃちべえ」
熊本博物館　マスコットキャラクター

企画展　博物館でひな祭り！！

２月６日より、企画展「博物館でひな祭り!!」を開催しています！

ひな祭りの展示を通して、日本文化の魅力と地域文化の多様性を皆さまにご紹介いたします。天草土人形・おきあげ人形といった熊本ならではのひな人形をはじめ、江戸時代の享保びな、平安時代の貴族の屋敷を再現した御殿飾り、そして馴染みの段飾りを展示いたします。あわせて、ひな人形のルーツである這子人形や舞踊人形・組人形なども展示いたします。当館所蔵の全国の変わりひな、豆びなや裸びななども初展示いたしますので、ぜひご覧ください。

●会　　期：2021 年２月６日（土）～３月７日（日）
●会　　場：熊本博物館２階　特別展示室１・２
●料　　金：博物館入場料　※（）は 30 名以上の団体料金
一般　400 円（320 円）
大学生・高校生　300 円（240 円）
中学生以下　200 円（160 円）

企画展
震災をふりかえる―大地とモノが語る熊本地震―

2021 年４月、熊本地震発生から５年が経過します。現在でも、被害を受けた多くの地域では復興に向けた取り組みが進められています。熊本市中心部では復興に加えて、再開発が進み、大型商業施設が開業するなど街の様子が大きく変わろうとしています。熊本城では、特別公開が 2019 年 10 月より始まり、復旧する姿が公開されています。本展では、熊本地震発生時の当館の取組みや、地震の痕跡が残る資料等をご紹介しながら、今一度５年前の地震を振り返りたいと思います。

●会　　期：2021 年３月 20 日（土）～５月９日（日）
●会　　場：熊本博物館２階　特別展示室１・２・３・多目的スペース
●料　　金：博物館入場料

＜問い合わせ先＞熊本博物館　TEL324-3500

広げよう地域教育の輪

特色ある地域教育の取組を定期的に発信し、子どもたちの多様な学びを支援します。

～川尻小学校ＰＴＡ　歴史と伝統に根差した多彩な活動～

～川尻小学校愛育会～

川尻小学校 PTA は、「愛育会」という名称のもと昭和 23 年から現在に至るまで活動を続けています。その中には歴史ある土地柄を活かした活動が多く、PTA 主催及び共催の行事だけでも以下のとおり非常に多彩です。

＜川尻小学校愛育会の取り組み例＞

★旅する蝶・アサギマダラの観察活動

★小学校マスコットキャラクター・ラックルくんの活動

（キャラクターがデザインされた地域防犯パトロールカーもあり）

★地域の講師の方による卒業お茶会　★青少協の協力による４年生の集団宿泊体験

★加勢川開発研究会の協力による自然学習　等

～六菓匠との取り組み～

同会の多彩な活動の中でも、今回は「六菓匠との取り組み」の様子をご紹介します。川尻地域にある和菓子店 6 店舗の組合「開懐世利六菓匠（かわせりろっかしょう」協力のもと、6 年生が小学校体育館で販売体験をする「六菓小学校」を開催しています。子供たち自身が仕入れの個数などの検討、商品 PR、販売、売上の集計などを行います。当日は多くの保護者や地域の方が来場し、商品を購入されます。体育館内には休憩用ベンチが設置され、座って和菓子を食べることもでき、そこに子供たちが自分たちで淹れたお茶を持って来てくれるサービスもあります。活動終了後、子供たちには和菓子がプレゼントされ、さらに売上金の一部は PTA に寄付され、活動資金の一部として活用されます。また、PTA 主催の 2 年生の学年行事では、六菓匠指導による「親子和菓子作り体験」が行われます。これは川尻の歴史的建造物「川尻公会堂」で開催され、川尻小の親子にとって貴重な体験の場となっています。

～川尻小学校 PTA 会長 森 長浩さんのお話～

「地域の歴史や伝統文化に直接触れる機会がみんなを育てる」

「川尻には地域の中に多くの“学びの種”が残されています。そして幸いにも、それらを蒔いてくださる地域の方々が多くおられます。川尻小学校の子どもたちは、実体験を通してそれらを学ぶのです。そして将来、彼らの中の誰かがその種を継ぐものとなり、後世に残す活動を続けてくれるでしょう。その活動のあり方そのものが地域の誇りであり、子どもたちの誇りにもなると考えています。」

森会長↓

＜問い合わせ先＞青少年教育課　TEL328-2277